

ピコットのネックレス Rhythmical ~ リズミカル ~

シンプルなストリングに小花のような「ピコット」をあしらひ、リズム感と可愛らしさをプラス。ボリューム感のあるチェコビーズをシンメトリーに配置することで落ち着きが生まれ、カジュアルにも、ちょっとしたお出かけにも身につけられるデザインです。

豆知識

お教室のトークに使える！

[テクニック]

- ***ピコット**……フランス語で「とげ」「くさび」の意味。レースやリボンのふちの小さな環状の飾りを指しますが、ビーズアクセサリーにおいては、本作品のように、輪状に編んだ部分・編み方をピコットといいます。5個のビーズでピコットを作ると、梅や桜の花のような形になります。
- ***ストリング**……本作品のように、ビーズを一行に通すもの・またはその工程をストリングと言います。ストリングは英語で、「一続きのもの」「一連のもの」「一行に並んだもの」という意味です。シンプルですが、ビーズの隙間を作らずしなやかに作るには、糸の引き締め具合や留め具の仕上げをていねいに行う必要があります。

[道具 & 素材]

- ***針**……ビーズ針：10号 または 縫い針：つむぎえりしめ
- ***糸**……「ワイルドファイアー 細／緑（ターコイズブルー用）・黒（ブラック用）」を推奨します。ワイルドファイアーは、表面を熱処理した合成繊維の糸です。ハリがあり強靱で、なめらかで撚りがないため、もつれや絡みが起こりにくい特長を持ちます。滑りが良いので、ピコットの位置を調整するのも好都合です。いっぽうで、結び目がほどけやすいので、固結びはしっかり行いましょう。また、カットするときはぴんと張った状態で、切れ味の良い手芸用のはさみで切りましょう。
- ***竹ビーズ**……竹を切ったような長いビーズです。本作品にはねじったツイストタイプを使用しています。ツイストしたビーズはユニークな形状と、光をよく反射することから、作品のアクセントに使うと効果的です。
- ***ファイアーポリッシュ**……特定の形状を指すのではなく、機械でカットした後に表面を高熱処理し、角を滑らかにしたビーズの総称です。炎で磨くので、Fire Polish と呼ばれます。いっぽう、型押しして製造するビーズは「プレスビーズ」と呼びます。
- ***サターン**……土星のように中央に輪のような飾りがあることに由来します。
- ***トライアングルカット**……カットした3つの面が窓のように見えることから、別名は「スリーウィンドウ」です。
※上記3種はチェコ共和国産のビーズ（＝チェコビーズ）です。チェコ共和国はボヘミアンガラスと称されるガラス製品の生産が盛んで、ビーズも世界中に輸出しています。国内に数多くの工場があるため、色や形のバリエーションが豊富なのが特徴です。いっぽう、製造所やロットにより品質に差が出やすいので、買い求めるときには注意しましょう。



ピコットのネックレス Rhythmical ～リズムカル～

サイズ調整方法

- *長くする…レシピ：④で丸大（A色）2個、竹ビーズを1個を14回通すところの回数を左右均等に増やす。
- *短くする…上記を左右均等に減らす。

デモポイント

～ここを実演して見せましょう～

- *道具の使い方や基本動作をひとつお見せ（糸の通し方、ビーズストッパーの使い方、ビーズの拾い方、糸の引き方など）。『ビーズステッチテクニック BOOK』第2章参照
- *ピコットの作り方。（形を指で整える方法・前に通したビーズとの間に隙間を作らない方法）レシピ：1-② 図②【ピコットの作り方】
- *編み戻りの方法。レシピ：2-①全体図
- *留め具ループ部分のビーズの拾い方。レシピ：2-②図⑥
- *玉留め・固結びの方法。『ビーズステッチテクニック BOOK』P21、P22 参照

チェックポイント

～上手に出来ていたらほめてあげましょう！～

- *ピコットと前後のビーズの間に隙間がないか？
- *レシピ2-②で、編み戻るときの引き締めがきつすぎないか？
※きつすぎるとしなやかさが失われます。適度な力加減を指導しましょう。
- *糸始末は適切か？

指導ポイント

～心がけることで「先生力」UP！～

- *はじめに、レシピの【スタートの位置】と【全体図】を見ながら、どこからどのように作っていくのか、製作の流れを説明しましょう。
 - *竹ビーズは切り口が斜めになっていたり、形がいびつなものは避けます。※予備が5個入っています。
 - *ピコットは親指と人差し指で軽く挟むようにして整えながら糸を引き締めると、きれいに作れます。
 - *ストリング部分のビーズを通すときは、あらかじめ竹ビーズの数を数えておくと、通しすぎることがありません。
 - *ピコットは前に通したビーズとの間に隙間ができないよう、前のビーズにしっかりと寄せてから編み進みましょう。
レシピ：1-②
 - *編み戻りは糸を引き締め過ぎないように気をつけましょう。レシピ：2-①、2-②
- （*A4の紙（210×297cm）などで、手軽に糸の長さを計れることを紹介してみましよう。なお、両手をいっぱい伸ばした長さは、自分の身長とほぼ同じです。長く測りたい時に覚えておくと便利です。）